

水を大切に使いましょう 3つの心得

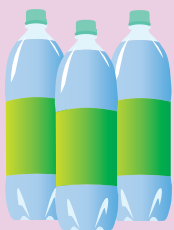
いつ発生するか予測できない災害、もし水道が使えなくなったら・・・

飲み水や生活用水を確保するためにも、日頃から水を備えておくことが大事です。

① 飲み水の備蓄

生命維持に必要な水の量は、1人1日あたり3ℓといわれています。

地震などの災害発生直後、応急給水の体制が整うまでの飲み水として、飲料水の備蓄を心がけましょう。



② 容器の準備

給水車や緊急貯水槽から水を運ぶための容器を準備しましょう。

持ち運びのことを考え、10ℓ程度のもので、持ち手があると便利です。



③ 風呂水のためおき

風呂水はすぐ流さずに、ためておく習慣をつけましょう。

洗濯や掃除のときの雑用水、防火用水や水洗トイレを流す水など、飲料水以外に活用できます。



冷やします

おいしく感じる水の温度は、だいたい10度～15度。
特に気温の高い夏場は、冷蔵庫で冷やすとおいしく飲めます。

技あり!おいしい飲み方

朝一番の水は雑用に

一晩水道管の中にたまっていた水は、バケツ1～2杯分程度を雑用水などの水として使い、その後の水を飲むとおいしく飲めます。

下水道を正しく使いましょう 3つの心得

排水口に天ぷら油や生ごみなどを流すと、下水道管の詰まりの原因となります。

また、石油類が下水処理場に流れ込むと、下水中の汚物を分解してくれている微生物を死滅させ、浄化できなくなってしまうです。

一人ひとりが環境に心がけて、下水道を正しく使いましょう。

① ごみは流さない

野菜くずや残飯を流さないように、台所の排水口にはごみ受けネットをつけましょう。



② 油は流さない

天ぷらなどで残った油は、新聞紙などにしみ込ませ、もやせるごみとして出しましょう。石油類は絶対に流さないでください。



③ トイレトペーパーを使う

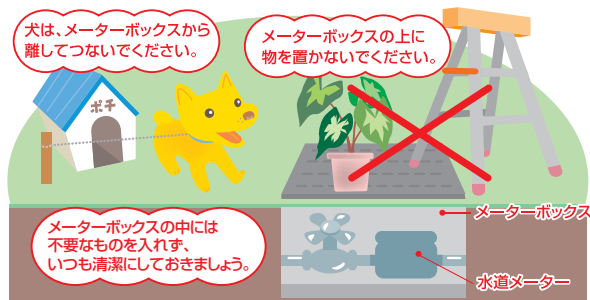
汚水管が詰まってしまう、トイレトペーパー以外の紙やたばこの吸いがらなどのごみは、絶対に流さないでください。



水道メーターの検針にご協力ください

水道メーターは、みなさまのご家庭で使用した水量を計り、水道料金・下水道使用料を算出するための大切なものです。

2ヵ月ごとにお伺いする検針員が正しくメーターの検針を行えるように、メーターボックスの上には荷物を置かないなどのご協力をお願いします。



山形市上下水道部 〒990-0836 山形市南石関27番地
電話：023-645-1177(代表)

<http://www.suidou.yamagata.yamagata.jp/>